



# 伊深っ子

伊深小 学校だより R6,3,22

FROM-0 歳プラン2推進校

『明るく笑顔あふれる伊深っ子』

～学び合う 思いやる やりぬく～

…81名の「小さなつみかさね」…

3月18日月曜日、100年の歴史がある選抜高等学校野球大会が兵庫県の甲子園球場で始まり、第1回大会は「全国選抜中等学校野球大会」という名称で1924年に行われました。100周年を記念する今年の選抜大会での選手宣誓は、青森山田高校（青森県）の橋場公祐主将が務められ、素晴らしいメッセージを披露しました。その中に

「宣誓 今ありて 未来も扉を開く 今ありて 時代も連なり始める…(中略)…

今年の元日に能登半島沖で大きな地震が発生しました。家族団欒(だんらん)と過ごしている中で、激しい揺れに私たちは恐怖と深い悲しみに襲われました。被災地では現在も苦しみと困難の多い生活を余儀なくされています。私たちにできることは、目の前の白球をがむしゃらに追い続けること。そして、全力で野球を楽しむことです。…(略)」

「がむしゃらに追い続ける姿」や「何かに打ち込み全力で楽しむ姿」はカッコいいなあと思います。

この一年間、伊深小学校でもそんな姿がたくさんあり、子どもたちの成長を感じる場面がありました。木曜日の朝の活動の場面です。

「みんなもう一回踊っていいですか」

と元気で明るい声により、足が速くなるダンスが繰り返されました。今年度、粗大運動の取り組みとして実践してきたことにより、全校児童が集い、一つの活動に挑戦し、からだづくり活動を続けました。また、微細運動の取り組みとして「写し絵」に挑戦しました。ある保護者の方から、「写し絵を続けると、細かい作業がうまくなりますね」



と嬉しい感想をいただくこともありました。そして、3月19日に実施した「仲良し散歩」。3年生の仲間が作った散歩コースを全校の仲間と一緒に散歩すると、それぞれのコースで3年生の仲間がところどころで嬉しそうな表情で解説を加えてくれました。

いずれも81名の「小さなつみかさね」の連続により、何かしら自信が身に付いたり、体幹が整えられたり、成果につながったようです。トップアスリートだけでなく、私たち一人一人ががむしゃらに楽しむことは、成長するために必要とされるのでしょう。

「小さな小さなつみかさねが明日を創り出す」を念頭に挑戦した伊深小学校の子どもたちに感謝するとともに、これからのさらなる成長を願うばかりです。  
(宮西 祐治)